

第57回Caféプレイエル&ギャラリーやましろ定例コンサート

晩秋に贈る 北アルプスの麓のコンサート

Oneness 時を越えて *Oneness*

226歳 *Gut Strig Cello* のひびき

富田牧子 チェロ・ソロコンサート

2018年

11月11日 (日)

午後**1時30分** 開演

Caféプレイエル 喫茶ホール

3,200円 (ハーブフルーツ tea
ドリンク付き)

親子券 **5,000円**

(中学生以下)

35名様限定

— 要予約 —



Program

J.S. バッハ (1685-1750) : 無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007

G.M. ダッラーノ (1710-1805) : 無伴奏チェロのためのカプリスより

J. シベリウス (1865-1957) : 主題と変奏 二短調 (1887)

Z. コダーイ (1882-1967) : 無伴奏チェロソナタより 第1楽章 (1915)

Z. コダーイ / 富田牧子編曲 : 孔雀は飛んだ

カタロニア民謡 / 富田牧子編曲 : 鳥の歌

18世紀のバロック音楽から19世紀フィンランドのシベリウス、20世紀ハンガリーのコダーイまで、そして時を越え人々の平和への想いが詰まった民謡に基づく編曲を集めました。一台のチェロで繰り広げられる音の世界をお楽しみいただけましたら幸いです。(富田牧子)

富田牧子 (チェロ) プロフィール

東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動始める。イタリア、フランス、ドイツ、オーストリアの音楽祭や講習会に参加、ニューヨークでハーヴィ・シャピロ氏の指導を仰ぐなど、ソロと室内楽の研鑽を積む。大学院修士課程修了後ハンガリーのブダペストに留学、リトミック弦楽四重奏団チェロ奏者ラースロー・メズー氏に師事。

NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。各地でのソロリサイタルを開催するほか、弦楽四重奏団メンバーとしての活動を行う。その後バリオド奏法への関心を深め、バロックと現代の楽器にガット(羊腸)弦を張り、様式の異なる弓を使い分けながら、様々な楽器との組み合わせによる「充実した内容の音楽を身近で味わうコンサート」の企画を続けて15年になる。J.S. バッハと20、21世紀の作品を組み合わせたサンドイッチ・コンサートも好評継続中。

2017年バーカッションのコスマス・カピツァ氏とのデュオ『羊とヤギ』でCD『O Terra(大地よ)』をリリース。2018年1月から松本市の仲町「蔵シック館・茶房」にて「茶房ライブシリーズ」を始める。

<http://tomitamakiko.seesaa.net>

主催・お問い合わせ・お申込み

Caféプレイエル&ギャラリーやましろ 松本市波田3058-5 (上高地線新島々駅西)

Tel. 0263-92-8158 <http://www.cafe-pleyel.com/> Facebook : Hiroko Furuhata